

そこが聞きたい!!

一般質問

一般質問のようすは、インターネットで配信をしています。2次元コードから、該当議員の動画へアクセスできます。(パソコンやスマートフォンで視聴できます。閲覧可能期間は2年間です)

☑ 一般質問は、議員が市政全般について、自由なテーマで市長に質問・政策提言を行うもので、市民の声を市政に届けるものです。6月定例会では、18名の議員が一般質問を行いました。ここでは、質問と答弁の一部をご紹介します。なお、質問の内容は、質問した議員が作成しています。



HPV自己検査キットの導入を/飲食店等への支援策を 金子 広和 (創造)



録画配信の
2次元コード

◆若年女性の健康寿命を守るためHPV(ヒトパピローマウイルス)対策を

所沢市では昨年度、子宮頸がんの罹患率が増え始める年代に当たる28才の女性の希望者に対して、定期的な子宮頸がん検診の、受診のきっかけとなるように、無料でHPV自己検査キットを配布したと聞いているが、狭山市も無料配布など支援を始めては。

健康推進部長 自己採取HPV検査キットを導入した自治体の状況について、その効果も含め情報収集したいと考えている。



自己採取HPV検査キットの一例

◆中小企業・小規模事業者、特に厳しい飲食店への支援策を強く要望

夜間(特に20時以降など)来店客数が激減していると悲痛な声が届いている。

今年の3月議会、市長施政方針の中で「中小企業・小規模事業者への支援につきましては、狭山市ビジネスサポートセンターにおいて、中小企業等が抱える課題や問題の解決に向けて、引き続き、事業者に寄り添った支援を行っていく。」と示されたが、以前実施した『さやまプレミアム付チケット事業』などのような、購買意欲を高める支援策も含まれるのか、また、その必要性についての考えは。

環境経済部長 『さやまプレミアム付チケット事業』など、購買意欲を高める支援策については、国の動向も注視しながら、その必要性について検討していく。



サピオ稲荷山 各種機能の存続を! 大沢 えみ子 (日本共産党)



録画配信の
2次元コード

サピオ稲荷山の利用者が少ないなどを理由にプール・温浴施設・トレーニングルームを廃止する方針が出されているが、2023年度(令和5年度)の利用状況は。

健康推進部長 利用者数は18万7,628人であり、利用者の内訳は、プールが52.5%、トレーニングルームが22.0%、浴室・大広間が14.2%、会議室が4.8%、研修室が3.7%、レクリエーションルームが2.8%である。

プール・温浴施設・トレーニングルームを廃止して「健康増進機能」をどう確保するのか。

健康推進部長 デジタル技術を活用したアクティビティには様々なものがあり、今後は、認知症

予防や障害のある方にも利用できる機能を導入していきたい。

少なくともプールとトレーニング機能は存続すべきでは。

健康推進部長 体力面だけではなく、認知機能の低下を防ぐための設備も検討し、多様な人々が相互に支え合い、多世代が楽しみながら体力づくりを行うことができる次世代型・全世代型の拠点としてリニューアルしたいと考えている。

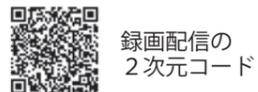


サピオのプールは廃止の方針

その他のテーマ▶ 介護保険事業者への支援を



許さない!クレームに名を変えたカスタマーハラスメント 福田 正 (健政会)



録画配信の
2次元コード

◆カスハラとクレーム

カスハラとクレームの違いは。

総務部長 妥当性を欠いた要求や、社会通念上不相当な手段などを用いた悪質なクレームであるカスタマーハラスメントに対して、クレームとは、顧客や市民からの相談や疑問点についての説明や改善の要望を受けることである。

◆カスハラに該当する行為

カスハラに該当する行為とはどのようなものがあるのか。

総務部長 一般的には、企業や行政に瑕疵や過失が認められない、妥当性を欠いた要求内容のものや、暴行、傷害等身体的な攻撃、脅迫、暴言などの精神的な攻撃、威圧的な言動、土下座の強要、継続

的かつ執拗な言動、拘束的な言動、不当な金品の要求など、社会通念上不相当な手段によるものがカスハラに該当する行為とされている。

◆カスハラへの対処方法

加害者に対し、カスハラを絶対許さない強い姿勢で臨んで欲しいが、その限界もあると思われる。このことについての所見は。

総務部長 他の自治体の事例を見ても、決定的な対処方法を見いだすのは簡単ではなく、困難な状況もあると捉えている。

カスハラに対しては、組織的に毅然とした態度をもって対応する必要があると認識しており、引き続き多角的なアプローチにより、厳正に対処していく。



まわりの人が
知らん顔はだめ!



カスハラを許さない、しない、させない環境となるように 三浦 和也 (健政会)



録画配信の
2次元コード

①市として、カスタマーハラスメントを未然に防ぐ取り組みを、現在どのように行っているのか。

②過度な要求に毅然と対応し、市職員を守るために、警察など外部の関係機関とどのように連携を行っているのか。

③カスタマーハラスメントによる被害は。また、メンタルヘルスケアなどの対処は。

総務部長 ①庁舎内には防犯カメラや通話が録音できる装置を備えている。また、職員提案により、窓口などにカスタマーハラスメント防止のポスターを掲示し、来庁者に広く啓発をしている。職員への対応は、狭山市不当要求行為等対応マニュアルを整備し、説明責任や不当要求行為の防止に向けた具体的な行動基準を示している。また、職員の個人情報やSNSなどインター

ネット上において拡散や悪用されることを防ぐため、本年4月1日から、職員の名札の表記を従来のフルネームから名字のみに変更した。

②職員が暴行や傷害など身体的な攻撃を受けた場合は、即座に警察に通報している。また、カスタマーハラスメントなどで犯罪に該当する可能性がある場合は、顧問弁護士や警察と連携し、必要に応じた法的措置を講じる体制を整えている。

③長時間や複数回にわたるカスタマーハラスメントは、職員の精神的・肉体的な負担を増大させるだけではなく、本来の業務に支障を来すことが多々ある。メンタルヘルスケアなどの対処では、基本的には所属長などによるケアを実施し、職場内での相談やサポート体制を整え、職員が一人で悩みを抱え込まないようにしている。



カスハラ防止啓発ポスター